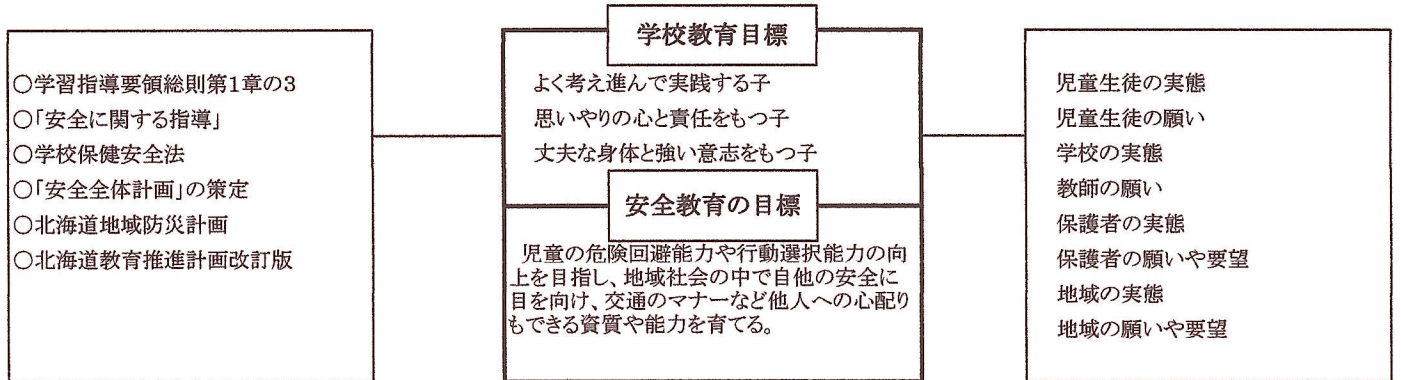


植苗小中学校・安全全体計画

苫小牧市立植苗小中学校



目指す子ども像	育てようとする資質・能力等
○身の回りにある危険を予測し、主体的に回避できる子ども ○身の回りの人と協力し、安全の維持向上に努力できる子ども	○安全に関する理解を深め、状況に応じた適切な危険回避の意思決定と自らの身を守るために行動を選択する力

安全教育の目標を実現するための基本方針
○各教科、総合的な学習の時間、特別活動、学校行事等の教育活動全体を通して、児童が自ら安全に関する課題を把握し、その解決を考え実行することができる活動を基本に推進する。 ○防犯教室・避難訓練・交通安全教室など、体験的な活動を取り入れた安全教室を展開し、危険を予測し回避する能力を高める。 ○各学期に安全点検を実施する。

安全教育の目標を実現するための基本方針安全管理との関連		
生活安全	交通安全	災害安全
○家庭や地域で起こる犯罪や危険について理解し、事件・事故に巻き込まれない行動ができることを重視する。 ○校内外で不審者に対する適切な対処方法や行動ができるようにする。 ・防犯教室、薬物乱用防止教室、避難訓練 ・登下校時の街頭指導 ・長期休業中における生活指導 ○SNSの使い方、性被害防止、Jアラート(弾道ミサイル等)、犯罪予告、テロ等に関しても安全指導を行う。	○歩行時や自転車の安全利用とマナー指導に重点的に取り組む。 ・交通安全教室 ・学級における安全指導 ・登下校時の街頭指導 ・自転車点検	○地震・津波・火災・暴風雨・雪害等の災害を中心に指導し、適切な行動ができるようにする。災害発生時における避難の仕方等を理解する。 ・火災、地震と津波、様々な状況を想定した複数回の避難訓練 ・学級における安全指導、危機管理マニュアルの活用

各学年の指導方針	関連教科等
【小学校1・2・3年】 安全に関する基本的な知識を得る。地域の方々との交流を通して、地域社会の一員としての自覚をもたせる。 【小学校4・5・6年】 安全に関する知識を活用する。地域社会で自他の安全を意識した行動ができるようにする。 【中学校1・2・3年】 安全に関する知識や体験を日常の中で深める。地域社会の中で、自他の安全や他人への配慮もできるようにする。	【関連教科(生活科、社会、理科、体育、特別の教科道徳)】 学習活動における事故防止の指導や緊急時の約束の確認を徹底する。 【朝の会、帰りの会、給食】 日常的な安全指導を行い、安全・安心に学校生活を送る生活態度を育成する。 【児童会・生徒会活動】 自他共に安全・安心な行動がとれるように、委員会の特色に応じた安全指導を徹底する。

安全管理との関係		
対人管理	対物管理	事件・事故災害発生時の危機管理
○学校生活のルールへの遵守を徹底するとともに規範意識の向上を図る。 ○教職員による児童の健康観察やアレルギー調査、行動観察により、心身の健康状態の把握に努め、養護教諭との連携を深める。 ○教職員への研修等を行い、安全管理に対する資質能力の向上に努める。また、教職員の労働安全衛生を守るため教頭を衛生管理者(衛生推進者)として教職員の心身の状況を管理し、ストレスチェック等を行う。	【安全点検】 チェックリスト表に基づき定期的に防火・防災・防犯設備・体育施設や薬品管理について点検する。 【日常点検】 日常の見回り点検を徹底し、事故防止の観点から授業や学校行事等の際は、事前の安全点検を徹底する。	○避難訓練等を通じて、危機管理マニュアルを検証し、見直しを図る。 ○災害発生時における保護者と連絡手段及び児童の引き渡し方法を確立する。 ○関係機関との緊密な連絡体制を構築する。